

兵庫県のカミキリムシ研究史(2)

高橋 壽郎

1945. 関 公一・巖 俊一. コクロトラカミキリの新型
昆虫世界 49 (571) : 16
芦屋産 (1♀, 24. V. 1945) の標本による。異常型の記載であるが本種は *Rhaphuma japonica* CHEVROLAT エグリトラカミキリのことである。
1946. 関 公一. 鞘翅類雑記(2)
昆虫世界 50 (572) : 24-26.
チャゴマフカミキリの芦屋からの記録。従来九州からのみ知られていたチャゴマフカミキリ *Pachyosa perplexa* PASCOE = *Mesosa* の芦屋からの記録。
1946. 巖 俊一. チャゴマフカミキリについて
昆虫世界 50 (574) : 18-19.
芦屋での産出, 生態の記録. 学名は *Pachyosaa perplexa* = *Mesosa* となっている。
1948. 東 正雄. ラミーカミキリ *Paraglena fortunei* Saunders. 1853. 発生と食性. 新昆虫 1 (9) : 42.
神戸市北区有馬町有馬温泉林溪寺内のムクゲにラミーカミキリが多数発生。新芽を食するとの報告。この記録は正式には兵庫県下から初めて報告されたものである。
1948. 佐々木 泰. カミキリ類数種の成虫越冬.
生態昆虫 2 (6/7) : 75.
須磨で3種 (マツノトビロカミキリ, トガリシロオビサビカミキリ, ヒメスギカミキリ) の越冬状況の報告。
1949. 林 匡夫. 日本産ヒゲナガコバネカミキリ属研究追記. 昆虫学評論 1 (2) : 29-33.
ヤマトヒゲコバネカミキリ *Molorchus (Linomius) japonicus* の摩耶山での産の記録あり (1948年6月21日 巖 俊一採集)。現在ヤマトチビコバネカミキリ *Leptepania japonica* (HAYASHI, 1948) になる。
1949. 巖 俊一. トガリシロオビサビカミキリの生活の一端. 灘高生物研究班班報 (15) : 26-35 [717-726] *
摩耶山からのコバネカチキリ, マヤサンコブヤハズカミキリの採集の記録が記されている。
* [] の中の数字は巖 俊一 生態学論集 (1988) に出ている頁
1950. 大林一夫. 日本産天牛類の研究史(2) (予報)
昆虫学評論 5 (1) : 56-61.
BATES, 1873の論文解説中多くの兵庫県産のカミキリムシの者が出てくる。
1950. 柴内俊次・清水良介・玉木健雄・矢頭 昇・和田 義人. 奈良春日山の甲虫類について (I). TRITOMA (神戸昆虫同好会々誌) 1 (1) : 1-23
表題のごとく奈良春日山で採集した甲虫類についてのべたものであるが執筆者が神戸在住の関係で神戸近郊での記録もふくまれている。カミキリムシは矢頭 昇である。
P. 15. 12. *Strangalina contracta* BATES ミヤマホソハナカミキリ = *Idiostrangalia contracta* (BATES)。六甲山にても得られた。
P. 16. 19. *Anaglyptus nipponensis* BATES トガリバアカネトラカミキリ。神戸市内。
1950. 柴内俊次・中畔史雄. 神戸虫便り.
札幌昆虫同好会々報 2 (1) : 3-15.
神戸付近における蝶・甲虫の注目種についての解説であり, 珍しい種がとりあげられている。特にカミキリムシは多くとりあげられている。和名と種名を記しておく (学名は省略)。
ニフハナカミキリ (摩耶山), ミヤマホソハナカミキリ (摩耶山), カツコウメダカカミキリ (摩耶山, 六甲山), ヤマトヒメカミキリ (神戸市内), キバネニセハムシハナカミキリ (六甲山, 摩耶山), ヒメミヤマカミキリ (本山村), フタオビミドリカミキリ (摩耶山付近, 青谷), ヒメコブヤハズカミキリ (摩耶山, 天上寺付近), チャゴマフカミキリ (芦屋), オオシロカミキリ (住吉, 御影, 六甲山), タカサゴシロカミキリ (神戸市須磨, 山の街, 高取山, 烏原, 六甲山麓, 芦屋村, 本山村), チャボヒゲナガカミキリ (摩耶山), ハスオビヒゲナガカミキリ (摩耶山, 住吉村), ナカバヤシモブトカミ

キリ（神戸市内），ラミーカミキリ（本山村，諏訪山，ヒメリンゴカミキリ（摩耶山）。

1950. 樋口繁一・橋本一慶・山田重次.

有馬郡生物誌. 兵庫県立有馬高等学校普通科生物教室刊 : 121-122.

カミキリムシは23種記録されている。データが全くなく和名学名の羅列である。オオアオカミキリの記録がある。

1952. 石井 弘. ラミーカミキリ神戸に産す

新昆虫 5 (1) : 40

神戸市内にて。

1952. 高橋寿郎. フジヤマチビカミキリを神戸にて採集
新昆虫 5 (5) : 36.

神戸市山の街にて採集された標本，林 匡夫博士の図説（近畿甲虫同好会々報 Vol. IV, No. 1, P. 1-2, 1949）によりフジヤマチビカミキリと同定発表したが *Miaenia fujiyamai* (MATSUMURA et MATSUSHITA) この種はケンカミキリ *Sciades (Miaenia) tonsus* (BATES, 1873) のシノニムである。

1952. 田口勝夫. 昆虫の趨光性（蛍光灯と昆虫）(1).

兵庫生物 2 (1) : 33, 付図 1-2.

神戸市立妙法寺小学校自然教育学習園で行った昆虫の夜間採集の内 8, 9, 10, 11月の各月 1回を代表として 4日間の詳しい採集データが示されている。カミキリムシ科は 3種（クロカミキリ，サビカミキリ，トガリシロオビサビカミキリ）のみ記録されている。

1952. 山本義丸. 郷土・氷上郡の昆虫相について。

Natura (7) : 8-13.

氷上郡昆虫相の概説でありカミキリムシ科は53種と概数で示され，タカサゴシロカミキリ，オオシロカミキリなど注目種も示されている。

1953. 岩田久二雄・奥谷禎一・永富 昭・中根猛彦. 氷の山の昆虫. 兵庫生物 2 (3) : 121-125.

甲虫類については中根博士により 9種について解説ならびに96種の目録が出ている。カミキリムシ科は23種示され，フタオビミドリトラカミキリ，アサカミキリなどの名が見られる。

1953. 村山醸造. 松類穿孔虫防除に関する研究.

文部省科学試験研究報告No. 6 : 1-112.

兵庫県養父郡建屋村内での調査結果であり，この調査

地域内の採集昆虫目録がある。カミキリ科は7種が記録されているが，いづれも注目すべき種は含まれていない。

1954. 奥谷禎一. 但馬扇山の昆虫.

兵庫生物 2 (4/5) : 206.

扇ノ山での昆虫の概説で中でも具体的に次のカミキリムシ名が示されている。ヒゲナガマフカミキリ，ウスイロトラカミキリ，ニイジマトラカミキリ，ルリボシカミキリ，セダカカミキリ。

1954. 山本義丸. 氷の山の昆虫

Natura (11) : 7-9.

甲虫48種が記録されており内カミキリムシ科は15種が記録されている。

1955. 山口福男. ラミーカミキリ

新昆虫 8 (7) : 表紙

明石にて 1♂ (VI・1954) のラミーカミキリの写真。

1955. 近畿甲虫同好会編. 原色日本昆虫図鑑. 甲虫編.

増補改訂版 274 P. 68 Col. pl. (保育社・大阪)

兵庫県産の甲虫による図説多し (130種図説)。カミキリムシ科も12種が図説されている。カミキリムシ科の担当は林 匡夫博士。

1956. 中谷貴寿・吉阪道夫. 阪神地方におけるラミーカミキリの分布. 新昆虫 9 (6) : 41.

神戸市御影，布引及び明石市，加古川市での産の記録。

1956. 高橋 匡. 但馬でイツキキモンカミキリムシを採集. 新昆虫 9 (10) : 51.

多紀郡篠山産標本による。

1956. 高橋 匡. 但馬でイツキキモンカミキリを採集. 新昆虫 9 (10) : 51.

養父郡八鹿町日畑 (lex. 23. vl. 1956)。

1956. 高橋寿郎. きれいな甲虫

兵庫県生物誌. p. 58-61.

(兵庫県生物学会編. 神戸新聞社刊).

県下産ムネホシシロカミキリムシ，ルリボシカミキリムシをそれぞれ説明紹介した。

1957. 永富 昭, 赤松輝彦. ホソキリンゴカミキリムシの生態に関する 2, 3の知見. 昆虫 25 (1) : 33-36

多紀郡篠山町産材料による。

1957. 高橋寿郎. 中胸に3肢を有するゴマダラカミキリ. 採集と飼育 19(5) : 156.
養父郡永の山産の村料による。
1957. 藤村俊彦. 邦産ヤツボシハナカミキリの変異について. 新昆虫 10(3) : 12-21.
神戸市六甲山, 養父郡八鹿産の標本も含まれている。
1957. 山口福男. 明石市のラミーカミキリについて. 新昆虫 10(6) : 46.
1957. 大槻孝司. 永の山採集記
Natura 14 : 38-41.
1957. 大槻孝司. 氷の山妙見山の昆虫
Natura 14 : 41-45.
採集記と採集品目録である。カミキリムシ科17種が記録されていて若干の注目種が含まれている。
1958. 山本義丸. 兵庫県水上郡昆虫目録.
水上の自然第3集. Natura の特別号. A 5. 134 P.
(ref. p. 72-102)
水上郡に産する昆虫数が3,000種に達したとして, それらをまとめて発刊されたものである。甲虫類は71科833種が記録され, そのうちカミキリムシ科は83種が記録されている。学名, 和名と並んでいるだけであるが若干の種については産地が示されている。当時わりと注目されていたタカサゴシロカミキリムシは写真をつけて説明されている(神楽産)。ムネホシシロカミキリも神楽で採集されている。
1958. 堀田 久. 淡路島のカミキリムシ類
兵庫生物 3(4) : 255-257.
33種のカミキリムシが記録されている。
1958. 氷の山調査団. 氷ノ山の昆虫及び植物
Natura 15 : 17-19.
カミキリムシ科5種の記録がある(やや注目すべき種を含んでいる)
1958. 安達鉄美. 本年度(1957)新しく記録された甲虫.
Natura 15 : 87-88.
20種記録されている(水上郡産)カミキリムシ科は7種が含まれている。
1959. HAYASHI, M. A New Species of *Prionus* Geofroy from Japan (Col. Cerambycidae, Prioninae). Entom. Ren. Japan 10(1) : 4.
従来ノコギリカミキリとして知られていた種が実は2種に別けられるとして新に *Prionus sejunctus* HAYASHI ニセノコギリカミキリを記載発表されたもので兵庫県(Takarazuka, 1♂, 10. VII. 1958)にも産することが記録されている。
1959. 東 正雄. 亡びつつある動物.
国立公園 六甲の自然. P. 34-36. (六月社刊, 新書版173 P. 1964年増補版)
3種のカミキリムシについて簡単な説明あり, ダイセンカミキリ, オオシロカミキリ, タカサゴシロカミキリ。
1959. 高橋 匡. 氷の山の甲虫.
Natura 16 : 28-42.
44科279種の甲虫目録。カミキリムシ科は67種記録されている。
1959. 村上雅昭. 蘇武・瀨川・妙見の昆虫.
Natura 16 : 48-50.
共に養父郡で, カミキリムシ科4種が記録されている。
1959. 奥谷禎一. タテジマカミキリの食樹.
昆虫学評論10(2) : 42.
篠山盃嶽における記録(コシアブラ, タカノツメ)。
1959. 京浜昆虫同好会. 日本産カミキリムシ類の生態と採集法一覽. 新しい昆虫採集(下) P. 361-460 (内田老鶴圃刊・東京).
兵庫県からのカミキリムシ8種の記録がある(原記載引用は省く)。
1960. 多田泊二, 辻 啓介. 扇ノ山のカミキリムシについて. 兵庫農大生物研究部々誌(1) : 23-27.
扇ノ山のカミキリムシとして52種が記録されている。ただ学名と和名のみでデータがない。
1960. 村上雅昭. 扇ノ山の甲虫.
Natura 17 : 33-35.
1959年7月26日~30日間の扇ノ山の甲虫採集リストである。カミキリムシ科は15種記録されているが和名のみの表示である。
1960. 高橋 匡. 水上郡昆虫目録追加(第1報)
Natura 17 : 100-105.
19科60種が記録されている。カミキリムシは6種。

1961. 林 匡夫. 日本及びその近隣の天牛類の研究(13).
昆虫学評論13(1) : 21-26.
2新亜種, 3新種の記載をふくみクロトラカミキリを
2つの亜種に別けて西南日本産のものに新名 *Chloropherus*
diadema kurotora HAYASHI クロトラカミキリを与
えられ兵庫にも産すると記録された。
1961. 藤田国男. 天牛2種の新産地.
昆虫学評論 13(2) : 68.
Maroleptura thoracia CREUTZER クロオオハナカ
ミキリ氷ノ山より記録 (1♀, 1・Ⅷ, 1961)。
1961. 高橋寿郎. 兵庫県のカミキリムシ類 (第一報).
兵庫生物 4 (2) : 88-96.
その時点で知られている兵庫県産カミキリムシの分布
を中心のまとめをした。本報では94種記録。
1961. 辻 啓介. 扇ノ山のカミキリムシについて (第二
報). 兵庫農大生物研究部々誌, (2) : 56-62.
第一報の訂正並びに53種を追加記録。
1961. 辻 啓介. ハネビロカミキリとヨツスジハナカミ
キリの雑交観察について.
兵庫農大生物研究部々誌 (2) : 65-66.
扇ノ山での観察。
1961. 鳥居正史. 六甲山系甲虫目録(1).
Shida (県立長田高校生物部会誌) (9) : 4-6.
カミキリムシ科48種が記録されている。
1961. 足立 勲. 扇ノ山採集記.
Natura 18 : 29-35.
和名だけであるが終りに採集リストを示されている。
カミキリムシ科は18種記録されている。
1961. 高橋 匡. 氷上郡昆虫目録追加 (第2報)
Natura 18 : 66-74.
21科95種を記録。内カミキリムシ科8種が記されてい
る。
1962. 長田高校生物研究会甲虫班. 六甲山系甲虫類目録
(Ⅱ). Shida (10) : 11-20.
36科197種追加4科8種を記録。データはあれども和
名だけである。追加にカミキリムシ科2種あり。
1962. 山本義丸・高橋 匡. 氷上郡昆虫目録追補 (第1
集). A 5, 14 P. (単行本)
- 31科184種記録されている。カミキリムシ科は15種。
1963. 辻 啓介. 但馬扇ノ山甲虫目録(1)
兵庫農大生物研究部々誌 (3) : 24-47.
48科294種の記録と同時に中根博士が同地で採集され
た13科28種も記録されている。カミキリムシ科は5種が
ある。
1963. 高橋 匡. 出石郡昆虫目録 (第1報)
VITA (兵庫県立出石高等学校科学部生物班会誌).
(1) : 1-34.
51科401種が記録されている。カミキリムシ科は39種
が記録されている。
1963. 林 匡夫. 日本及びその近隣の天牛類の研究14.
昆虫学評論 15(2) : 56-58.
p. 56. *Prionus sejunctus* HAYASHI ニセノコギリ
カミキリ兵庫県浜坂に産する記録。
1964. 高橋寿郎. 兵庫県のカミキリムシ類 (第2報).
兵庫生物 4 (5) : 248-253.
本報文で94種記録。第1報と合して6亜科203種の兵
庫県産カミキリムシを記録したことになる。
1964. 辻 啓介. 扇ノ山甲虫目録 (Ⅱ).
兵庫農大生物研究部々誌 (4) : 15-19.
12科28種の記録でその内カミキリムシは14種記録され
ている。
1964. 辻 啓介. 奇形シリーズ 第4報
兵庫農大生物研究部々誌 (4) : 33-35.
4科8種の甲虫の奇形の解説である。2種を除いて篠
山産である。カミキリムシ科は5種ある。
1964. 辻 啓介. 多紀郡の天牛相について (第一報).
兵庫農大生物研究部々誌 (4) : 36-51.
多紀郡産カミキリムシ98種を記録。

(兵庫県甲虫相資料・313)